

地域コミュニティとしての菓子・料理教室

活動の経緯

米の流通が激変し、野菜についても諸外国の輸入が増大、生産農家に大きな打撃となり農業の生き残りの為に農家が連携できるコミュニティ基地として、H8年に有志によりふるさとにしなす産直会を新鮮・安全・安心を理念に旗揚げした。

活動の概要

地域の人が地域の食材で伝える食文化から生まれるコミュニケーションを重視したお菓子とお惣菜の教室を実施した。



料理教室の様子



菓子教室の様子

活動の成果、主な実績等

年間13回の料理教室を企画、講師スタッフも地域の料理を再確認し、参加者が地域食材や地域料理を知ることになりました。

教室のプログラムは余裕を持ちコミュニケーションを重視した内容で、参加者とスタッフも和気あいあいと交流を深めることが出来るように工夫しました。

地域情報の交換や、子育ての悩みが解決するなど、教室後も継続的な繋がりがみられました。

あまり料理されていなかった素材や調理方法に注目した結果、地域的な特性や健康に配慮した内容を発見することが有り、食宅から地域や未来への繋がりを認識してくれる例がありました。